

令和2年度 英語科 授業充実（改善推進）プラン

昨年度のプランの検証

取り組みにおける成果と課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 3年生については「理解の能力」が昨年度に比べ向上した。 ・ 2年生については「言語についての知識・理解」に課題がある。
---------------	--

英語科における調査結果の分析

内容別結果の分析	<p>【2学年】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 全体的に目標値やや下回っている。 2 リスニングの対応文に関しては、目標値を上回っている。 3 場面に応じて書く英作文、三文以上の英作文の正答率が低い。 <p>【3学年】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 全体的に目標値を下回っている。 2 英文の読み取りは、目標値を上回っている。 3 語形語法の知識理解で目標値を下回っている。
観点別結果の分析	<p>【2学年】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 聞くことに関しては、内容理解の項目が目標値を下回っている。 2 読むことに関しては、目標値を下回っている項目が多い。 3 書くことに関しては、ほとんど目標値を下回っている。 <p>【3学年】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 聞くことに関しては、目標値を上回っている問題と下回っている問題が、混在している。 2 読むことに関しては、英文の読み取りと語彙理解でかなり差が見られた。 3 書くことに関しては、ほとんど目標値を下回っている。

授業改善のポイント（調査結果等を踏まえて）

1 導入を工夫することで英語学習への興味・関心を高める。	2 4技能をバランスよく向上させるために、帯学習でそれぞれの技能を伸ばす指導をする。	3 多様な音読を取り入れることで発話や読解の力を高める。また語彙力の向上、正しい語形や語法の理解を図る。
------------------------------	--	--

授業改善策

【1学年】	<ol style="list-style-type: none"> 1 アクティビティを通して、文法理解と場面に応じた自然な会話力を向上させる。 2 音読を徹底して実施し、音声による理解と表現力を向上させる。 3 辞書引き指導を定期的に行う事で、自立学習の姿勢を養い、語彙力向上にもつなげる。 4 ICTを効果的に導入することで、4技能をバランスよく学習させる。
【2学年】	<ol style="list-style-type: none"> 1 ウォームアップで4技能を向上させるドリルを行い、基礎を固めていく。 2 辞書引き指導を行い、語彙力向上、英作文・表現の能力向上につなげていく。 3 教科書を繰り返し音読させることで、正しい文の形、表現を定着させる。 4 帯活動にリスニング教材を新しく導入する。
【3学年】	<ol style="list-style-type: none"> 1 ワークシートを使って文法の重要事項を重点的に確認する。 2 多様なパターンの英文音読を導入することで、読解力を高めるようにする。 3 過去問題等で長文問題、英作文、文法問題にじっくり取り組み、その成果をテストで確かめる。